



神奈川県立鶴見支援学校
地域連携グループ・進路チーム NO. 3
令和6年12月6日発行

2学期は、修学旅行や体育祭など学校生活を彩るさまざまな学校行事がありました。行事を通して、学年やクラスの団結力も高まったように感じます。沢山の楽しい思い出を作ってほしいと思います。

さて今回は、本校と分教室の実習の様子、卒業生のつどいについて紹介します。

実習の様子（本校高等部2年生）

高等部2年生は10月7日（月）から10月18日（金）まで9日間、校内実習を行いました。前期の校内実習を基に、後期では個々に新たな目標を決めて取り組みました。また、今回はネジの組み立ての受注品を全ての工場で行いました。部品を順番ごとにケースに入れたり、ナットを予め並べて置いたりするなど、工夫をすることで取り組むことができました。箱の組み立て、ボールペンの組み立て・分解、仕分け作業などにも引き続き取り組みました。今後は、福祉事業所体験や3年生の現場実習に向けて取り組んで行ければと思います。

実習の様子（本校高等部3年生）

高等部3年生は、9月から後期現場実習が始まりました。普段とは異なる環境の中で、生徒たちは緊張や不安を抱えながらも、一生懸命に挑戦を続けています。後期の実習では、前期の経験を活かしつつ、自分たちのペースで作業に取り組む姿が見られ、その表情には以前にも増して真剣さと頼もしさが感じられるようになってきました。

実習の様子（分教室）

分教室では、10月15日（火）～10月25日（金）に校内実習が行われました。作業内容は、前期と同じ作業を3課に分かれて行いました。また、SEDでの作業は毎回お願いしていたナツメ球作業がなかったですが、新たに港北区の福祉協議会からの封入作業と国際ボランティアセンターからの切手作業を行うことができました。1年生は2回目であり流れもつかめ作業意識を持ち進めていくことができました。2年生は現場実習との両立をする必要があるため、面接や通勤練習などもあり緊張した気持ちで作業を行っている生徒もありました。3年生は最後の校内実習ということでしっかりと自覚を持って作業を行っていました。それぞれ後期も一人ひとり成長がみられた2週間でした。

卒業生のつどい

7月の海の日開催から、10月のスポーツの日に変更し、PTA主催となりました。例年通り本校と分教室に分かれ近況報告をし、懐かしい仲間とおしゃべりカラオケなどを楽しみました。参加者80名、PTAの役員の方々、また現在鶴見支援にいる教員だけでなく異動した教員も多数集まりにぎやかなつどいとなりました。